

第44回
福島県児童・生徒木工工作コンクール
表彰式

開催日時 令和元年11月30日(土) 午前11時

開催場所 いわきワシントンホテル 椿山荘

福島県木材青壮年協会

式 次 第

【表 彰 式】

1. 開 会
2. 挨 拶
3. 来 賓 紹 介
4. 講 評
5. 表 彰
6. 祝 辞
7. 閉 会

【記 念 撮 影】

出席者名簿 (敬称略)

【ご 来 賓】

福島大学人間発達文化学類教授	新 井 浩 (あらい ひろし)
関東森林管理局磐城森林管理署長	橋 爪 一 彰 (はしづめ かずあき)
福島県農林水産部林業振興課長	前 田 洋 (まえだ ひろし)
いわき市農林水産部林務課 林業振興係長	谷 平 健 一 (たにひら けんいち)
福島県木材協同組合連合会専務理事	宗 形 芳 明 (むなかた よしあき)
ラジオ福島いわき支社長	渡 邊 和 之 (わたなべ かずゆき)
磐城流域いわき地区林業活性化 センター事務局長	松 崎 正 信 (まつざき まさのぶ)

【主 催 者】

福島県木材青壮年協会長	初 瀬 雅 洋 (はつせ まさひろ)
-------------	--------------------

【受 賞 者】

福島県知事賞	第 1 部	板 倉 圭 佑 (いたくら けいすけ)
〃	第 2 部	渡 邊 哲 平 (わたなべ てっぺい)
福島県教育委員会教育長賞	第 1 部	田 口 元 音 (たぐち ながと)
〃	第 2 部	高 木 結 衣 (たかぎ ゆい)
関東森林管理局長賞		本 間 結 衣 (ほんま ゆい)
いわき市長賞		古 市 優 望 (ふるいち ゆみ)
福島民報社長賞		山 本 琥 太 郎 (やまもと こたろう)
福島県木材協同組合連合会会長賞		安 西 凜 真 (あんざい りま)
福島県林業会館理事長賞		斎 藤 悠 汰 (さいとう ゆうた)
NHK福島放送局長賞		近 藤 美 結 (こんどう みゆう)
福島テレビ社長賞		齋 藤 瑠 生 雅 (さいとう るいが)
福島県木材青壮年協会	第 1 部	古 山 璃 久 (ふるやま りく)
福島県木材青壮年協会	第 2 部	長谷川 琉 星 (はせがわ りゅうせい)

開催の趣旨

【目的】

再生可能な循環型資源として広く知られている木材は、地球温暖化防止に極めて有効な二酸化炭素の固定の手段としても注目を浴びています。このように優れた特性を持つ木材を実際に自分で切ったり、削ったり、組み合わせながら、香り・色・肌触り等の木の持つ良さを実感することで、未来を担う子どもたちの感受性を豊かにするお手伝いをしながら、木材の利用推進を図ることとします。

【主催等】

- ◇ 主催 ◇ 福島県木材青壮年協会・福島民報社・福島県木材協同組合連合会
- ◇ 後援 ◇ 福島県・福島県教育委員会・関東森林管理局・いわき市・福島県林業会館・NHK福島放送局・ラジオ福島・福島テレビ

【応募資格】

- (1) 福島県内の小中学校の児童・生徒であること。
- (2) 木材及び林産物を主材料として利用・加工した創作品で、作品の大きさは一辺の大きさが60cmを越えないもの。

【審査基準】

	配点(100点)
(1) 子どもの頭で考え、子どもの手で作ったもの。	30点
(2) 木の持ち味を活かし、独創性に優れていること。	30点
(3) 機能、デザインが優れているもの。	20点
(4) 工作技術が優れているもの。	20点

経過説明

【審査内容】

1. 出展作品数 総数547点（26校）
うち、各校より推薦のあった80点について審査した。
2. 審査会 令和元年9月13日いわき・ら・ら・ミュウにおいて、次の審査委員により「入賞者名簿」のとおり各賞が決定された。

◇審査委員長◇	(敬称略)
福島大学人間発達文化学類教授	新井 浩
◇審査委員◇	
関東森林管理局磐城森林管理署長	橋爪 一彰
県農林水産部林業振興課技師	松浦 由佳
いわき市立小名浜東小学校長	鈴木 廣美
いわき市農林水産部林務課主査	吉田 秀朗
福島民報社いわき支社長	鈴木 俊哉
福島テレビいわき支社長	五十嵐 敦
福島県木材協同組合連合会専務理事	宗形 芳明
福島県木材青壮年協会会長	初瀬 雅洋



【その他】

3. 全国コンクールへの参加
上位入賞作品については、令和2年1月～3月開催の全国コンクールに出展し、さらに入賞した作品については、令和2年6月13日仙台市で開催される日本木材青壮年団体連合会全国会員大会会場において表彰される。
4. 作品の展示及び展示期間
令和元年9月14日（土）～9月15日（日）
於：いわき・ら・ら・ミュウ 2階 会議室

講 評

第44回福島県児童・生徒木工工作コンクール審査委員長
福島大学人間発達文化学類教授
新 井 浩

第44回福島県児童・生徒木工工作コンクールの審査は9月13日にいわき市ら・ら・ミュウ会議室で行われました。その審査結果について講評を交えお伝えします。

当日会場では、アイデアと手間のかかった力作が多数並び、レベルの高い審査会になることが容易に想像できました。審査基準を確認したのちに審査を行い、予想の通りに投票数の多かった作品はどれも力作で、甲乙つけがたい白熱した審査となりました。

僅差でしたが、受賞作品は以下の通りに決定しました。

福島県知事賞第1部に選ばれた^{いたくらけいすけ}板倉圭佑君の〈アメリカザリガニ〉は流木や朽ち木の持つ豊かな表情をつかって、アメリカザリガニを表した作品でした。大型のはさみはいかにも重そうに見えるほど本物らしい真に迫った表現で、ヒゲも竹の枝を使ってしなやかに表現するなど、思いつきと工夫がたくさん見られる生き生きとした作品でした。

福島県知事賞第2部に選ばれた^{わたなべてつべい}渡邊哲平君の〈流木とマツボックリでできたシーラカンス〉は、うろこ一枚一枚をマツボックリの破片で表した作品で見事でした。感想に書かれていたように、最初はドングリで作っていたのを途中からマツボックリの破片に切り替えるなど、工夫と手間を重ねた作品で最優秀賞にふさわしい立派な作品でした。

県教育委員会教育長賞第1部に選ばれた^{たぐちながと}田口元音君の〈たまごをねらうへび〉は長方形の枠に納めようとして納めきれないような、あふれる力を感じる作品でした。たまごを丸めるために時間をかけて磨いたことで、よりいっそう表現の効果が上がっていて、迫力がありました。

県教育委員会教育長賞第2部に選ばれた^{たかぎゆい}高木結衣さんの〈海の怪物大まぐろ〉は形を整えた木材に、マグロの表皮を表そうとして木の皮を貼り付けた、完成度がとても高い作品でした。実に丁寧で、手間のかかる製作だったことが想像出来ます。波の様子をかんなくずで表し、深い海の様子とたくましい大まぐろの躍動する生命感が見事でした。

関東森林管理局長賞に選ばれた^{ほんまゆい}本間結衣さんの〈孔雀〉は流木を組み立てて、広げた尾羽を落ち葉で表した、味わいのある作品でした。感想に書かれているように、孔雀の広げた尾羽をうまく表現できるよう、落ち葉の大きさをそろえる、開き方を整えるなど、作者の誠実な取り組み方によって作品に命が吹き込まれました。

いわき市長賞に選ばれた^{ふるいちゆみ}古市優望さんの〈木工地図〉は日本地図と世界地図が木材チップで表された、工作技術のたいへん高い作品でした。丁寧な仕事の様子に目を奪われがちですが、地図を木材チップで作ってみようという意欲の旺盛さも強く感じられて、その気持ちはこれからも大切にしてほしいと思いました。

福島民報社長賞に選ばれた^{やまもとこたろう}山本琥太郎君の〈わすれ物チェックボード〉は忘れ物をしないようにするにはどうしたらよいか、という目的で作られた、発明的な良さのある作品でした。こんな

工夫を重ねていけば忘れ物がなくなるだけでなく、世の中のためにとっても役立つものを作り出せると思います。たいへん素敵な作品でした。

県木連会長賞に選ばれた安西凜真さんの〈あなをあけるきつつき〉は木の枝に止まったキツキが木をつついてる様子を表した、とても可愛らしい作品でした。キツキのくちばしに見えたという流木が、丁寧に彩色することで生き生きとしはじめ、止まった枝の質感との対比でよりいっそう輝きだした作品になりました。

県林業会館理事長賞に選ばれた齋藤悠汰君の〈トトロの森〉は夢のあるツリーハウスが主役となって、アニメの物語とは異なった創意工夫のある作品となっていました。工作技術が丁寧でしっかりしていて、本物のツリーハウスも近い将来きっと出来そうですね。

NHK福島放送局長賞に選ばれた近藤美結さんの〈思い出の1枚の写真〉は実に手の込んだ作品でした。平面であるはずの写真が、思い出の力で作り込まれて、立体的に浮き出している様子は迫力があって、見る人の目を捉えて離さない魅力がありました。

ラジオ福島社長賞に選ばれた星飛風君の〈たのしい木きん〉は弟と一緒に遊べるよう作った作品だそうです。「組み立てをがんばりました」と感想に書かれているように、あぶなくないように釘を使わず作った経験はとても大切な経験でしたね。

福島テレビ社長賞に選ばれた齋藤瑠生雅君の〈フォレストハウス〉は自然の爽やかさがたくさん詰まった森の家を作りました。涼しげな建物構造はもちろんですが、緑の葉っぱで屋根や柱を飾った様子は居心地良く、呼吸まで気持ちよくなりそうでした。

県木青協会賞第1部に選ばれた古山璃久君の〈ピストル〉は大小の木をどう組み立てたら良いか、設計をよく考えて作られている作品でした。遊びに使うのもよいですが、武器と利器の違いは何なのか、考え初めても良い頃かもしれませんね。

県木青協会賞第2部に選ばれた長谷川琉星君の〈仲良しなカメとツル〉はマツボックリ、枝、おがくずなどで作られた、カメとツルの交流が表現された作品でした。開いた松かさの組み立て模様が美しく、また配置や彩色も工夫して、動きと親和性のある作品となっていたところがとても良かったと思います。

さて、今年に入ってブラジルの森林火災が問題になり、また国連では環境問題について次世代を代表した少女から、未来の地球環境に関する厳しい指摘がありました。より多くの命が健康で幸福に生きていくための智慧は、より包括的な観点から個別具体的な観点まで、様々な知見が総合したものでなくてはなりません。

もちろん私たちは、人と森林との関係を今までの長い積み重ねによって、再生可能資源というとらえ方で知見を積み上げてきました。

木工工作コンクールという機会に、私たち生き物と森林との関係にかかわる叡智をより多くの人と共有して、より良い社会、より良い未来のために生かしていくことが大切だと考えます。これからも未来を担う子ども達のための木工工作コンクールであることを願って、講評の言葉と致します。

入賞者名簿

(敬称略)

【最優秀賞】

福島県知事賞 1部

アメリカザリガニ

いわき市立平第五小学校 3年 板倉 圭佑

福島県知事賞 2部

流木とマツボックリでできたシーラカンス

いわき市立勿来第二小学校 6年 渡邊 哲平

【優秀賞】

福島県教育委員会教育長賞 1部

たまごをねらうへび

いわき市立小名浜第二小学校 4年 田口 元音

福島県教育委員会教育長賞 2部

海の怪物大まぐろ

いわき市立大野第二小学校 6年 高木 結衣

関東森林管理局長賞

孔雀

いわき市立泉小学校 6年 本間 結衣

いわき市長賞

木工地図

いわき市立磐崎小学校 5年 古市 優望

福島民報社長賞

わすれ物チェックボード

いわき市立夏井小学校 3年 山本 琥太郎

福島県木材協同組合連合会長賞

あなをあけるきつつき

福島市立野田小学校 4年 安西 凜真

福島県林業会館理事長賞

トトロの森

いわき市立泉北小学校 4年 齋藤 悠汰

NHK福島放送局長賞

思い出の1枚の写真

いわき市立中央台東小学校 6年 近藤 美結

ラジオ福島社長賞

たのしい木きん

いわき市立平第四小学校 2年 星 飛風

福島テレビ社長賞

フォレストハウス

いわき市立御厩小学校 5年 齋藤 瑠生雅

福島県木材青壮年協会会長賞 1部

ピストル

いわき市立小玉小学校 3年 古山 璃久

福島県木材青壮年協会会長賞 2部

仲良しなカメとツル

いわき市立小名浜第一小学校 5年 長谷川 琉星

【入選】

福島県木材青壮年協会会長賞

すてきなティーパーティー

福島市立野田小学校 3年 佐藤 美洋

コロコロ貯金箱

柳津町立柳津小学校 5年 白井 悠人

かやぶきやねの家

いわき市立御厩小学校 4年 遠藤 正基

世界遺産おめでとうじん徳天皇子よう古ふん

いわき市立小名浜第一小学校 5年 初瀬 明依

蝶のかくれんぼ

いわき市立泉北小学校 5年 山崎 奏音

まつぼっくりのジェットコースター

いわき市立泉小学校 4年 山口 雄輝

トビの羽休め

いわき市立平第六小学校 6年 富岡 ゆうな

私の守り神 千手観音

いわき市立中央台東小学校 6年 関根 知風

カブト虫

いわき市立郷ヶ丘小学校 6年 渡邊 紗希

カラスのす

いわき市立赤井小学校 2年 安川 旺志郎

ぼくの町のぼんおどり

いわき市立小名浜第三小学校 4年 志賀 結心

しげみにかくれて戦車をまちかまえるフェーリー号

いわき市立泉北小学校 5年 吉田 丈一郎

☆☆☆第44回福島県児童・生徒木工工作コンクール入賞作品☆☆☆

(敬称略)

福島県知事賞 1部



「アメリカザリガニ」
いわき市立平第五小学校
3年 板倉 圭佑

福島県知事賞 2部



「流木とマツボックリでできたシーラカンス」
いわき市立勿来第二小学校
6年 渡邊 哲平

福島県教育委員会教育長賞 1部



「たまごをねらうへビ」
いわき市立小名浜第二小学校
4年 田口 元音

福島県教育委員会教育長 2部



「海の怪物大まぐろ」
いわき市立大野第二小学校
6年 高木 結衣

関東森林管理局長賞



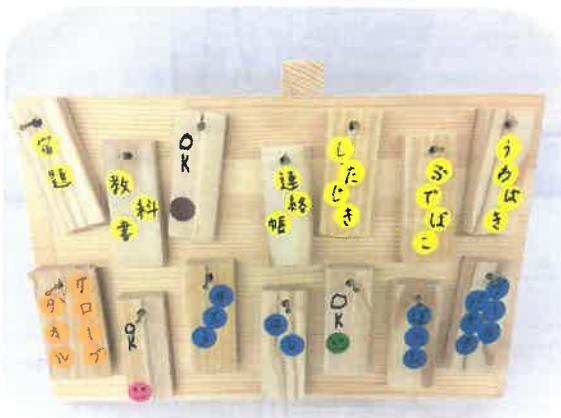
「孔雀」
いわき市立泉小学校
6年 本間 結衣

いわき市長賞



「木工地図」
いわき市立磐崎小学校
5年 古市 優望

福島民報社長賞



「わすれ物チェックボード」
いわき市立夏井小学校
3年 山本琥太郎

福島県木連会長賞



「あなをあけるきつつき」
福島市立野田小学校
4年 安西 凜真

福島県林業会館理事長賞



「トトロの森」
いわき市立泉北小学校
4年 齋藤 悠汰

NHK福島放送局長賞



「思い出の1枚の写真」
いわき市立中央台東小学校
6年 近藤 美結

福島テレビ社長賞



「フォレストハウス」
いわき市立御厩小学校
5年 齋藤瑠生雅

ラジオ福島社長賞



「たのしい木きん」
いわき市立平第四小学校
2年 星 飛凧

福島県木材青壮年協会長賞 1部



「ピストル」
いわき市立小玉小学校
3年 古山 璃久

福島県木材青壮年協会長賞 2部



「仲良しなカメとツル」
いわき市立小名浜第一小学校
5年 長谷川琉星

